

## 平成 29 年度 第 3 回香南市産業振興計画推進分野別部会 報告

- 1 農業部会 . . . . . 1 ページ
- 2 林業部会 . . . . . 2 ページ
- 3 水産業部会 . . . . . 3 ページ
- 4 商業部会 . . . . . 4 ページ
- 5 工業部会 . . . . . 5 ページ
- 6 観光部会 . . . . . 6 ページ
- 7 サイクリング専門委員会 . . . . . 7 ページ

・平成29年度 第3回香南市産業振興計画推進農業部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	◎竹内 淳	J A土佐香美園芸部
2	○長崎 篤史	香南市認定農業者連絡協議会
3	石丸 典男	J A土佐香美果樹部
4	近藤 亨	J A土佐香美営農経営指導課
5	野村 富幸	高知県中央東農業振興センター 農業改良普及課
6	山本 茂夫	香南市農業公社
7	百田 彰和	香南市有害鳥獣被害対策協議会

2. 事務局

	氏名	所属
1	村山 敦	農林課
2	中屋 幸夫	農林課
3	小松 大洋	農林課
4	伊野 広高	農林課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	取組状況及び課題と今後の対応
第3回 (1/12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回策定委員会では出された意見等について</li> <li>・平成29年度農業分野の下半期進捗状況について</li> <li>・平成30年度農業分野の新たな取り組みについて</li> </ul>	別紙当日配布資料参照
委員意見(抜粋)		
<p>① ヤギを利用した酪農業への支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤギミルクで商売を始めようという話が出てきている。県外ではヤギを農地に放して雑草駆除を行うなどの事例もある。要望があればこのような取り組みへの支援をしてもらいたい。</li> </ul> <p>② 新規狩猟者について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・狩猟免許取得者は微増しているだろうが、業として続けていく者は少ない。数年は経験をつまないと獲物は捕獲できないが、そこまで続けずに思うように数がとれないからといって辞めていく。ジビエが振興しないのもそういう所に原因があるのでは。</li> </ul> <p>③ GAPについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GAP取得への補助制度を検討してもらいたい。安心・安全は当たり前という考え方が普及する中、将来的にはGAPがないと(生産工程等を可視化しないと)農家は経営が成り立たなくなる。</li> </ul>		

・平成 29 年度 第 3 回香南市産業振興計画推進林業部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

2. 事務局

氏名		所属	氏名		所属
1	○白石 祐治	中央東林業事務所 振興課	1	猪原 一幸	農林課
2	◎野島 常稔	香美森林組合	2	小松 大洋	農林課
3	清藤 好弘	香美森林組合 (旧夜須町)	3	平井 彰洋	農林課
4	別役 瑞久	香美森林組合 (旧香我美町)	4	徳久 歩未	農林課
5	恒石 健一	林道愛護員 (旧夜須町)			
6	小松 光廣	林道愛護員 (旧香我美町)			
7	久保 肇	林業者			
8	東谷 興正	高知県計画推進課 地域支援企画員			

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第3回 (1/11)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回策定委員会が出された意見について</li> <li>・平成29年度林業分野の下半期取組実績について</li> <li>・平成30年度香南産業振興計画(案)について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 境界明確化事業について</li> <li>② 台風による山林の被害について</li> <li>③ 木質バイオマスについて</li> <li>④ 森林資源の消費拡大について</li> <li>⑤ 林道の分筆登記について</li> <li>⑥ 有害鳥獣について</li> </ul>
委員意見(抜粋)		
<p>① 境界明確化事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護の関係で、山林の所有者が調べられない。また、相続が出来ておらず3代~4代前の山主が未だに所有者になっているせいで境界の確定が出来ない。相続も税金がかかるため同意が得られず進まない。作業が出来るよう施策を作るか、法律の緩和に働きかけることは出来ないか。</li> </ul> <p>② 台風による山林の被害について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央東管内(香美、香南、南国等)の被害は約170ha(3500万円分)で県内の90%程度を占める。</li> <li>・台風により木が倒れた。林道にかかる分は市が対応したが、それ以外の部分については自分で処理しなければいけない。補助金等を導入して欲しい。(現在その後植林を行う場合のみ県で補助金がある。)</li> </ul> <p>③ 木質バイオマスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在発電用とセメント材料用で単価が全く違う。同額に出来ないのか。</li> <li>・一般の人が森林経営計画の策定が行われていない山林から端材を持って行く先がない。森林経営計画が策定されている分については仁井田の施設にて受け入れが可能だが、それ以外については近隣にない。運搬費で場所によってはむしろ足が出る。</li> </ul> <p>④ 森林資源の消費拡大について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CNF(カーボンファイバ)等の新技術の開発がどんどん進んでいる。行政も活用できる技術をもっと調べ、取り入れる・普及するようにして欲しい。</li> </ul> <p>⑤ 林道の分筆登記について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山間部の林道、県道、市道において分筆登記が出来ていない。道として提供している土地にまで固定資産税がかかっている。</li> </ul> <p>⑥ 有害鳥獣について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市と香南市で有害鳥獣を駆除したときの報賞金の額に差がある。同額に出来ないのか。</li> </ul>		

・平成 29 年度 第 3 回香南市産業振興計画推進水産業部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	◎山下 太造	高知県漁協 赤岡統括支所長
2	○仙頭 美香	高知県漁協 手結支所長
3	本田 和仁	赤岡バッチ船主会会長
4	北村 政志	吉川バッチ船主会代表者
5	浜口 信義	手結地区漁業者
6	中山 勝道	住吉地区漁業者
7	代理 宮澤 英将	中央漁業指導所
8	齋藤 弓子	高知県計画推進課

2. 事務局

	氏名	所属
1	澤田 卓	商工水産課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第3回 (1/12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回策定委員会について</li> <li>・平成29年度下半期水産業分野の進捗状況について</li> <li>・平成30年度水産業分野の取組について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地曳網再開に向けた検討</li> </ul>

委員意見(抜粋)

○観光漁業の推進

- ・地曳網で獲れた魚を食べさせる施設の必要性
- ・地曳網漁具の更新・料金見直し
- ・地曳網再開に向け、漁業権を行使する地元漁業者がいなくなった場合は、市内にある漁協各支所は同じ高知県漁協であるため他支所の漁業者が漁業権を行使することが可能なのか。可能であればやる気のある他支所漁業者が現れるのではないかと。

## 平成29年度 第3回香南市産業振興計画推進商業部会報告書

### 1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	◎福井 律	お菓子と雑貨おひさん
2	○西村 幸祐	香南市商工会
3	濱口 涼子	香南市商工会
4	橋本 香織	香南市観光協会
5	田中 たい子	スタジオハンズ・たいびんび
6	近藤 洋好	旅館 かとり
7	安藤 潮	高知県計画推進課（地域支援企画員）

### 2. 事務局

	氏名	所属
1	西岡 亜希子	商工水産課
2	猪原 加江	商工水産課

### 3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第3回 (1/10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度下半期の進捗状況について</li> <li>平成30年度商業分野の取組について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドブック作成は、まず各店舗のHP作成（商工会のサービスを利用）から始める</li> <li>平成30年度中にバルイベントを開催</li> <li>店のキャッシュレス化を推進</li> <li>空き店舗調査は各種関係団体と連携して進める</li> </ul>

#### 委員意見（抜粋）

- 赤岡町の空き店舗で、貸してもいい という話をいくつか聞いている。商工会だけではなく、町内会の方と一緒にヒアリングに回るのもいいのでは。
- チャレンジショップの制度は考えていないか。  
→空き店舗対策の会でも話は出たが、周辺自治体での成功事例を聞かない、ということや、チャレンジショップの適地がないということもあって香南市ではいまのところ検討していない。
- 商工会では無料でHP作成ができるサービスを提供している。コストをかけずに広報できて、通販もできるが利用が少ないので、来年度はもっと活用してもらうことを目指し、研修を行う予定。
- キャッシュレス化が進んでいるので店に対応機器導入を勧めて地域の消費を促す。国の補助金活用も検討する。
- バルは、全国各地で開催されているものと、基本はほぼ同じになる予定。初めての店に入るきっかけづくりになればいいと考えている。「後バル」の期間を設けて、屋しか営業していない店も対象となるようにしたい。
- 県外へ物販に行く事業が減っているのが残念。香南市単独ではなかなか難しいので、物部川流域等で連携して実施できればいいと思う。
- 山北ミカン等、特産品についてはもっと情報を発信することが大事。

・平成 29 年度 第 3 回香南市産業振興計画推進工業部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	◎黒原 正仁	YAMAKIN (株)
2	川久保 武志	カワクボFACTORY (株)
3	野島 和男	(株) 暁産業
5	金城 圭一	高知職業能力開発短期大学校
6	小松 裕明	高知県産業振興センター
7	○澤田 保男	香南市商工会
8	石丸 法正	香南市商工会
9	安藤 潮	高知県計画推進課

2. 事務局

	氏名	所属
1	萩野 大輔	商工水産課
2	猪原 加江	商工水産課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第3回 (1/9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回策定委員会について</li> <li>・平成30年度下半期の進捗状況について</li> <li>・平成30年度工業分野の取組について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月から実施している転入出者へのアンケートについては、回答を元に移住施策に反映する。</li> <li>・ルネサス高知工場は、承継先企業の誘致に努めるとともに、従業員の再就職支援についても協力体制を整える。</li> <li>・産業人材育成事業は、民間等が実施する研修を補助対象とするよう拡充に向けて要綱を改正し、利用の促進に繋げる。</li> <li>・インターンシップ支援事業は、大学だけでなく、県内の工業高校等を含めた関係機関に周知を図る。今後、他分野との一元化も検討。</li> <li>・空き地、空き家バンクのサイト開設については、不動産情報の収集や先進地の取組事例を参考にすると等、開設に向けた取組を進める。</li> </ul>
委員意見 (抜粋)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルネサス高知工場や関連企業にはかなり優秀な人材も残られていると思う。同じ香南市の工業分野であれば生活リズムを変えたくない方もいると思うので、香南市の工業部会でも協力できることがあれば。例えばハローワークの香南市内だけの情報を集めて提供するとか。</li> <li>・工業分野では安全対策等に係る資格が多い。産業人材育成事業もその部分を補助対象とすると利用が多くなると思う。</li> <li>・ものづくりに関する支援事業は少しずつではあるが浸透してきている。今後は対象者も増えてくると思いますし、口コミで広がっていけば。</li> <li>・インターンシップ支援事業は県内3大学へ事業説明に行っていると思うが、高校生は事業の対象とならないのか。</li> <li>・高知県の取組として、新たに県外の大学へ行かれた学生の親に対して情報を登録し、Uターンを想定した取組を始めていると思う。県の情報とリンクして香南市の支援制度に繋げるのも方法の一つ。</li> </ul>		

・平成 29 年度 第 3 回香南市産業振興計画推進観光部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	◎岡林 順子	創造広場アクトランド
2	○森尾 美紀	香南市観光協会
3	吉村 和久	高知県立のいち動物公園
4	長山 哲雄	高知工科大学
5	塩井 政利	香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会
6	齋藤 弓子	高知県計画推進課
7	近藤 誠	香南市地域支援課

2. 事務局

	氏名	所属
1	谷口 奈菜子	商工水産課
2	猪原 加江	商工水産課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第3回 (1/9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回策定委員会について</li> <li>・平成29年度下半期の観光分野の進捗状況について</li> <li>・平成30年度香南市産業振興計画(案)について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PR動画の作成について</li> <li>・PR動画サンプル視聴</li> <li>・旅行エージェント向け観光ストーリー企画作成について</li> <li>・観光部会へのアドバイザー招致について</li> </ul>

委員意見(抜粋)

- ・ PV 作成のために香南市の何を見せて、何をしたいのかという具体的な企画から決めないとならない。また、Youtube の利用方法なども確認が必要。
- ・ 香南市観光 HP のアクセス解析を行い、PV 作成のための参考資料とする。
- ・ 地元映像制作会社、香南ケーブル TV 等との連携。
- ・ 企画会社にすべて委託するのも手段としてはあるが、おもしろいものではないだろう。香南市の中から苦労してつくりあげていくほうが、結果的に盛り上がるのではないか。
- ・ PV をみた外国人が香南市を訪れたいようなものを撮影するために、弁天座で歌舞伎着替え体験を行い、そこへ特化してガイドを育成したり、パンフレットをあわせてつくるようにして、すこしずつ香南市を見せていく。
- ・ 弁天座で歌舞伎の衣装に着替えた人たちが、アクトランドのバスに乗って、アクトランドや動物公園をまわってみたらいい。
- ・ 何を見せたら外国人の人が感動するか、外国人の視線を完全に把握することが重要。
- ・ 外国人に拡散してもらうための仕組みやストーリーづくりが大事。
- ・ PV 作成は旅行エージェントとの商談会に必要な資料の作成にもいかせるだろう。

・平成29年度 香南市産業振興計推進観光部会（サイクリング専門委員会）報告書

1. 部会委員 ◎委員長 ○副委員長

	氏名	所属
1	◎山地 善久	香南サイクル
2	○栄枝 俊一	香南市サイクリングターミナル
3	池田 敏夫	技研製作所
4	山根 大輔	高知シクロクロス事務局
5	弘瀬 沙也香	香南市観光協会
6	内村 幸子	創造広場アクトランド
7	齋藤 弓子	高知県計画推進課

2. 事務局

	氏名	所属
1	中屋 健一郎	商工水産課
2	猪原 加江	商工水産課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第1回 (1/30)	・サイクリング分野の課題・取組について (意見交換)	① 情報の発信強化のため、県下のサイクリング情報を一括で網羅できるサイトが必要。 ② 外国人サイクリストの情報源はインターネットがメインを観点に情報を発信していく。 ③ 自転車と健康増進のツールとして捉え、健康ポイント等を活用し普及を図る。 ④ ブルーライン等の環境整備については、国の指針に沿った整備を県と連携して推進する。 ⑤ サイクリングターミナルの新たな活用を検討し、利用の幅を広げ集客を図る。

委員意見(抜粋)

- ・高知県下の自転車イベントをまとめたサイトがあればいいと思う。「高知 イベント」をキーワードとして検索しても見つかりにくい。
- ・外国人が情報を得るのは冊子とかではなく、もっぱらインターネット。高知県は高知市を離れるとインターネット上の情報が少ないとの声を聞く。
- ・自転車と健康増進のツールとして捉え、健康ポイント等を活用し普及を図る。
- ・レンタサイクルの利用促進に龍馬パスポートの活用を考えている。
- ・昨年、国のほうでも自転車活用推進法が制定され、今年は本格的に施策が展開されると思われる。その中でブルーライン等の環境整備も指針が示されると思われるので、それに沿った形の整備を。
- ・高知県が整備しているサイクルオアシスの認知度はまだ低いと思われるので、もっとPRしサイクリストに知ってもらいたい。
- ・タンデム自転車は視覚障がい者の方も楽しむことができ、公道走行が解禁になればパラリンピックの選手の誘致にも繋げることができる。
- ・サイクリングターミナルにおいて、老朽化したテニス場は、新たな活用（キックバイクや自転車の練習場、スケートボード場）を検討するとともに、自転車教室などソフト面の事業も新たに展開し、利用の幅を広げ集客を図る。